

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	成人看護学援助論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担当教員	高木 富士子	実務経験と その関連資格	● 0			

《授業科目における学習内容》

「セルフケアの再獲得」に向けた支援を行うための基礎能力を身につけるため、リハビリテーションの特徴を理解する。おもに呼吸器・循環器・運動器に機能障害のある対象を通しセルフケアの低下状態にある成人の看護展開について理解を深める。

《成績評価の方法と基準》

小テスト、ミニレポート並びに演習参加態度、筆記試験で総合的に評価。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院

《授業外における学習方法》

講義前に事前課題を提出する。また、講義後は小テスト、ミニレポートの提出を行い、授業内容の予習・復習をする。

《履修に当たっての留意点》

健康と障害との関連について考えを深めることができるよう、日頃より”障害がある人”に関連する記事、映画、小説などに関心を持つ。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの定義とそれを必要とする人々について説明できる	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 配布資料	成人看護学概論の回復期に関する学習
	各コマにおける授業予定	1. リハビリテーションの定義、2. ICDIHとICFの違い 3. 障害を持つ人とはについて考える		
第2回	授業を通じての到達目標	機能障害のアセスメントおよび障害受容と適応への看護について説明できる	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 配布資料	成人看護学概論の回復期に関する学習
	各コマにおける授業予定	1. 機能障害のアセスメント 2. 障害受容と適応への看護		
第3回	授業を通じての到達目標	リハビリテーション看護を実践する際のチームアプローチのあり方について理解できる。また患者の社会参加への支援について考えることができる。	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 配布資料	成人看護学概論の回復期に関する学習
	各コマにおける授業予定	1. チームアプローチと社会資源の活用 2. 患者の社会参加への支援		
第4回	授業を通じての到達目標	呼吸機能障害のある患者の特性を理解し、セルフケア再獲得に向けての看護について考えることができる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 医学書院 配布資料	生体機能学Ⅰ 疾病論Ⅰの呼吸器に関する内容
	各コマにおける授業予定	肺がん患者におけるセルフケアを阻害する要因とその看護		
第5回	授業を通じての到達目標	呼吸機能障害のある患者の特性を理解し、セルフケア再獲得に向けての看護について考えることができる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 医学書院 配布資料	生体機能学Ⅰ 疾病論Ⅰの呼吸器に関する内容
	各コマにおける授業予定	気管支喘息患者におけるセルフケアを阻害する要因とその看護		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環機能障害のある患者の特性を理解し、セルフケア再獲得に向けての看護について考えることができる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 医学書院 配布資料	生体機能学Ⅰ 疾病論Ⅰの循環器に関する内容
		各コマにおける授業予定	虚血性心疾患患者におけるセルフケアを阻害する要因とその看護		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環機能障害のある患者の特性を理解し、セルフケア再獲得に向けての看護について考えることができる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 医学書院 配布資料	生体機能学Ⅰ 疾病論Ⅰの循環器に関する内容
		各コマにおける授業予定	心不全患者におけるセルフケアを阻害する要因とその看護		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環機能障害のある患者の特性を理解し、セルフケア再獲得に向けての看護について考えることができる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 医学書院 配布資料	生体機能学Ⅰ 疾病論Ⅰの循環器に関する内容
		各コマにおける授業予定	不整脈患者のセルフケアを阻害する要因とその看護		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動機能障害のある患者の特性を理解し、セルフケア再獲得に向けての看護について考えることができる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 運動器 医学書院 配布資料	生体機能学Ⅰ 疾病論Ⅰの骨・筋・運動に関する内容
		各コマにおける授業予定	大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折患者のセルフケアを阻害する要因とその看護		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動機能障害のある患者の特性を理解し、セルフケア再獲得に向けての看護について考えることができる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 運動器 医学書院 配布資料	生体機能学Ⅰ 疾病論Ⅰの骨・筋・運動に関する内容
		各コマにおける授業予定	腰椎椎間板ヘルニア患者のセルフケアを阻害する要因とその看護		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸能障害のある患者のアセスメントの視点について理解できる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 医学書院 配布資料	生体機能学Ⅰ 疾病論Ⅰの呼吸器に関する内容
		各コマにおける授業予定	呼吸器機能障害のある患者(呼吸リハビリテーションが必要な事例)の看護過程:情報収集とアセスメント		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸機能障害のある患者の情報と統合する方法について理解できる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 医学書院 配布資料	生体機能学Ⅰ 疾病論Ⅰの呼吸器に関する内容
		各コマにおける授業予定	呼吸機能障害のある患者(呼吸リハビリテーションが必要な事例)の看護過程:情報の統合		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	呼吸機能障害のある患者(呼吸リハビリテーションが必要な事例)の問題の明確化の方法がわかる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 医学書院 配布資料	生体機能学Ⅰ 疾病論Ⅰの呼吸器に関する内容
		各コマにおける授業予定	呼吸機能障害のある患者の看護過程:関連図と看護診断		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸機能障害のある患者(呼吸リハビリテーションが必要な事例)の看護計画をたてることができる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 医学書院 配布資料	生体機能学Ⅰ 疾病論Ⅰの呼吸器に関する内容
		各コマにおける授業予定	呼吸機能障害のある患者の看護過程:看護計画		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸機能障害のある患者(呼吸リハビリテーションが必要な事例)の看護について理解を深めることができる	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 医学書院 配布資料	生体機能学Ⅰ 疾病論Ⅰの呼吸器に関する内容
		各コマにおける授業予定	看護計画およびその根拠について発表し、よりよい看護について考えることができる。		